

前へ

岐宿中学校だより
文責：都々木

4月12日(木)実施

歓迎遠足



好天に恵まれた歓迎遠足。往復約10kmの道のりを物ともせず歩きました。菜の花に囲まれた五島の随一のキャンプ地、魚津ヶ崎で「笑顔いっぱい」の時間を過ごしました。(注)吹き出しの言葉は想像です。

2年生



よか男に撮ってくださるっやろか?

何でこのポーズ?

1年生



本当は。前で目立ちたかったのに!

前の二人、大丈夫かな?~?

3年生



写真といえば、このポーズやろ

3年	2年	1年	副会長	会長
学級役員	学級役員	学級役員		
宿輪淳子さん	山川真琴さん 出口理香さん	今島真弓さん 小柳静枝さん	小柳洋一さん	石田昌人さん
	谷川津久美さん 出口千恵さん	村橋秀美さん	梶尾美智代さん	平田千鶴さん

こちらにも負けず PTA役員決定

二二日の総会にて本年度役員が決定いたしました。PTAは「社会教育」大人の学びの場です。きつと「やって良かったPTA」と言えるようになります!



1年	2年	3年
関田 由一 樽角 愛花	洗川 結喜 大河内 滉太	谷川 真菜 今川 優作

ファイト! 学級委員任命(二学期)

遠足の出発前に学級委員を任命しました。全校生徒に協力をお願いしましたが、「協力とは、黙ってただ従う」とではない。意見を言うこと。出来れば前向きな意見をたくさん言うことだ。」という話をしました。

6名の皆さん、意見をたくさん引き出し、「協力的な学級」としてくださいます。 ※敬称を略しています。

(雑感) 学校は、実に様々な言葉であふれている。教育の場であるから当然だろう。いくつか紹介したい▼「大きな希望 小さな実行」西岡武夫。どんな大きな希望・夢も、本日ただ今の小さな実行の一步から始まるということか▼「もつと頑張っておけばよかった、なんてかっこわるいセリフは絶対言わない」強い意志の持ち主だ。自分を振り返ると、このセリフだらけだ。▼「この世の中には広いものがある。それは海だ。それより広いものがある。それは空だ。それより広いものがある。それは人の心だ」これは、広い心の持ち主になりたい▼「啐啄同時」。これがどこにあるか知っている人は少ないだろう。校長室にある。生徒向けではなく、教師向けだ。藤田教育長が話されたことがあるので意味を知っている。▼ニワトリのヒナが生まれる時、内側から殻をつつき音を立てる。これを「啐」という。これを「啄」という。これを聞いた親鳥は、すかさず外側から殻を破る。これを「啄」という。啐と啄が同時に行われることによって、ヒナは生まれ出ることが出来る。つまり、求められる時に、求められていることを与えるタイミングの妙を言っているのだ▼このことは、師と弟子の関係にもあてはまる。つまり、教師と生徒の関係だ。「求められている時にすかさず与えよ」との教えであり、与えすぎを戒める言葉でもある▼師と弟子。教師と生徒。親と子。先輩と後輩。すべて同じ。与えすぎは良くない。しかし、「求めるように」仕向けることも忘れてはならない。

